

委員会	2種委員会	担当者氏名	松本県ヶ丘 西村 繁路
<p>〔現状〕</p> <p>①高校総体、選手権大会での県代表チームは全国大会で勝てない。</p> <p>②高校進学時に県内の優れた選手は他県のユースチームや高校に出てしまう。</p> <p>③その他、技術は低い、メンタル弱い、戦術理解に乏しいなど、課題は山積している。</p>			
<p>〔目標〕</p> <p>5～10年後</p> <p>①全国大会での初戦突破？</p> <p>②選手の県外流出を防ぐ。</p> <p>20年後</p> <p>①全国大会ベスト8？</p> <p>20年以降50年後</p> <p>①全国大会優勝？</p>			
<p>〔目標達成のための具体的な取り組み〕</p> <p>サッカー後進県である長野県においても育成年代の成長は目を見張るものがある。しかし、他県と比較するとレベルの差が広がっているように思える。この問題を解決するために指導者が「他県との違いは何か」「足りないものは何か」など、テーマを決めて現状分析や研究を重ね、種別を超えて今後の方向性を明確に示していくべきである。また、ハード面の充実は欠かせないため、自治体やプロを目指しているチームに働きかけ、人工芝や天然芝の練習場を確保するなどの環境整備も進めていかななくてはならない。</p> <p>< 2種 ></p> <p>① 県内に留まり自分たちで努力することも大切ですが、良いお手本は県外にこそ存在している。指導者も選手も他県に目を向け、足を運び、頭を使ってチームの強化を進める。</p> <p>② ①を解決すること。</p> <p>③ ユース年代まで大事に育てられてきた選手でもそれぞれ課題はある。その内容は技術的なものから性格や精神的なものなど多様だが、指導者は選手の実力や性格を把握し一人一人が更に上達するような指導を実践する。</p>			